



2026年8月7日

各 位

会 社 名 笹 徳 印 刷 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 杉 山 昌 樹

(コード番号 3958 東証スタンダード市場・名証メイン市場)

問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 天 野 利 通
管理統括・管理本部長

(TEL 0562-97-1111)

2026年6月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年8月8日に公表いたしました2026年6月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年6月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(2025年7月1日～2026年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 13,000	百万円 200	百万円 370	百万円 260	円 銭 47.06
今 期 実 績 (B)	12,223	63	274	194	35.24
増 減 額 (B - A)	△776	△136	△95	△65	
増 減 率 (%)	△6.0	△68.4	△25.7	△25.2	
(ご参考)前期実績 (2025年6月期)	12,555	185	420	246	43.28

2. 差異の理由

当連結会計年度において、売上高はパッケージング分野では、自動車用品および菓子・食品向けの受注は増加したものの、家庭用品向けは低調に推移しました。また、コミュニケーション分野では、情報媒体のデジタル化が進むなか、プリントメディアの数量の減少と価格競争の激化もあり低調に推移しました。

利益面に関しては、人件費の上昇に加え、原材料費、動力費、外注費、物流費などの高騰といった複数のコスト増加要因に対し、売価への転嫁、生産性の向上、原価低減を継続して実施しましたが、予想を大きく下回る結果となりました。

今後につきましては、「2030年 中期経営計画」のもと、成長が見込まれるパッケージング分野における事業エリア拡大と生産設備の増強、ならびにコミュニケーション分野におけるデジタル技術を活用した新たな付加価値の創造を推進し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

以上